

算数科学習指導案

単元名「3つの かずの けいさん」

平成30年9月7日(金) 第1校時 1年竹組教室
1年竹組 指導者

I 授業改善の視点

既習学習を思い出させるために、これまでの学習で使った計算の仕方の図を掲示したり、演習の際に練習問題別にコースをわけて様々な問題を与えたりすることで、考えを整理しながら順序良く計算することで、加減混合の解き方の技能を定着させることができるであろう。

II 本時の学習 3/4 (1/4 : 3つの数の足し算 2/4 : 3つの数の引き算) <ねらい>

・3つの数の加減混合の式の意味を理解し、その計算をすることができる。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを設定する。(10分)</p> <p>問題 バスに、ねこが5ひきのっています。3ひきおりました。つぎに4ひきのりました。ねこは、なんびきになりましたか。</p> <p>T : ひとつの式に表してみましよう。 S : $5 - 3 + 4 = (6)$ T : これまでと違うところは、どこでしょう。 S : たす と ひく が 両方ある。</p> <p><めあて> ひとつのしきに+と-があるときは、どのようにけいさんすればよいかな。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗る(増える)ときは足し算、バスから降りる(減る)ときは引き算を使っていたことを確認し、既習事項を思い出せるようにする。 ・ブロックを用い、問題文に合わせて一緒に動かすことで、視覚的にイメージができるようにする。 ・今までと違う式(足し算と引き算の両方が含まれている)であることに気付けるようにする。 ・子どもの気付きから、めあてを設定できるようにする。
<p>2 計算の仕方を見通し、問題を解く。(10分)</p> <p>T : 3つの数を、どの順番で計算していけばよいでしょう。今まではどうやっていましたか。 S : 前から順番にやっていく。 T : 前から順番にやると...? S : 最初に $5 - 3 = 2$ をして、 $2 + 6 = 8$ をする。</p>	<p>・これまでどのように求めていたか、既習事項を思い出させるよう呼びかける。</p> <p>・これまでの考え方を式と図で表したものを提示することで、図を作成するヒントを与えられるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\begin{array}{r} 3+2+4 = 9 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 5 \quad \quad 9 \\ \quad \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 9 \end{array}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $\begin{array}{r} 9-1-3 = 5 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 8 \quad \quad 5 \\ \quad \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 5 \end{array}$ </div> </div>
<p>3 学習のまとめをする。(5分)</p> <p><まとめ> まえからじゅんばんにけいさんする。</p> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{r} 5-3+4 = 6 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 2 \quad \quad 6 \\ \quad \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 6 \end{array}$ </div>	<p>・前から順番に解いていくことや、計算の仕方などを確認する。</p> <p>・前から順番に解く解き方を身につけられるよう、問題に取り組んで慣れさせるようにする。</p> <p>・コース別に分けた様々な問題に取り組ませることで、技能の定着を図る。</p>
<p>5 様々な練習問題に取り組む。(15分) 6 学習を振り返る。(5分)</p> <p><ふりかえり> ひとつのしきに+と-があるときの けいさんのしかたが わかったかな。</p>	<p>【評価方法】(発言・ノート) 3つの数字による加減混合の式の意味を理解し、順序良く計算して問題を解くことができている。</p>

III 板書計画

⑤ ひとつのしきに+と-があるときは、どのように けいさんすればよいかな。

⑥ 5 しき $5 - 3 + 4 =$

図

5ひき
3ひき おりる -
4ひき のる +
なんびき?

まえから じゅんばん

$$\begin{array}{r} 3+2+4 = 9 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 5 \quad \quad 9 \\ \quad \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 9 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9-1-3 = 5 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 8 \quad \quad 5 \\ \quad \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 5 \end{array}$$

(※ノート用板書)

⑤ +と-があるとき

⑥ しき $5 - 3 + 4 = 6$

$$\begin{array}{r} 5-3+4 = 6 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 2 \quad \quad 6 \\ \quad \quad \swarrow \quad \searrow \\ \quad \quad \quad 6 \end{array}$$

こたえ 6ひき

まとめ まえから じゅんばんに けいさんする。